

第46回全国少年柔道大会富山県大会実施要項

- 1 目的 柔道の基本技能を正しく習得し、わが国の将来をになう心身ともに健康な小学生児童を育成するとともに、相互の親睦を図ることを目的とする。
- 2 主催 富山県柔道連盟
- 3 共催 富山新聞社 富山テレビ放送 富山県柔道整復師会
- 4 後援 富山県教育委員会 富山県スポーツ協会
- 5 主管 富山県柔道連盟競技部 富山県柔道連盟砺波支部
- 6 日時 令和8年3月15日(日) 9:30 開会式
- 7 会場 富山武道館(富山市 牛島町 2-10 TEL 076-431-0170)
- 8 参加資格 (1) 参加する選手は、原則として令和8年4月30日現在、小学校5・6年生の男・女。
ただし、5年生の補充として4年生をもって充てることもできる。
(2) 出場するチームは、全日本柔道連盟に団体登録(2025年度)をしていること。
また、選手はその団体から登録していること。
(3) 参加チームの監督は、全日本柔道連盟公認指導者資格【C指導員】以上を保有していること。
(4) 皮膚真菌症(トラブランス感染症)について、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において、的確な治療を行うこと。
もし、選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合、大会への出場ができない場合もある。
- 9 チーム編成 (1) チームの編成は分団、または道場単位とする(混成チームは認めない)。
(2) 1チームの人員は監督1名、選手5名、補欠2名とし、申込後の変更はできない。
(3) 選手の編成は、大将・副将・中堅は6年生、次鋒・先鋒は5年生または4年生とし、学年順に配列する。ただし、下学年の児童が上学年の児童位置に出場することは出来る。この場合も、各学年順に配列し、同学年は「体重順」に配列すること。
(4) 選手の変更は、エントリーしている補欠からに限り行うことができる。補欠の補充はできない。但し、突発事故(負傷・病気等)の場合は、医師(整復師)の診断書を添えて大会当日の審判・監督会議の前までに大会事務局まで届け出ること。
(5) 2戦目以降の怪我による選手の配列変更は認める。但し、(3)に定められた編成(学年・体重順)内で配列すること。変更については配列決定後、各試合場に届け出ること。
(6) 一旦退いた選手は、その後の試合に出場することができない。
(7) 監督・コーチの服装は、審判に準ずる服装であること。

- 10 試合方法 (1) 試合は、団体試合トーナメント戦で行う。
- (2) 各チーム5名の点取り対抗戦とし、試合ごとのオーダー変更は認めない。
- (3) 勝敗決定の方法は、次のとおりとする。
- イ 勝ち数の多いチームを勝ちとする。
- ロ 勝ち数が同じときは、内容(「一本勝ち」「技有り」の勝ち数)による。
- ハ 内容も同じときは、代表戦を1回行い、必ず優劣を決する。代表戦に出場する選手は、「引き分け」の中から抽選で1組を選んで行う。
- 11 審判規定 (1) 国際柔道連盟試合審判規定(2025-2028)及び「国内における少年大会特別規定」
「富山県柔道連盟少年柔道申し合わせ事項」による。
- (2) 試合時間は3分間とする。
- (3) 優勢勝ちの判定基準:「一本」「技有」「有効」「僅差」とし、指導差が1以内場合は、「引き分け」とする。代表戦においては、通常の3分間の試合を行い、得点差がない場合は僅少差(旗判定)で、勝敗を決する。(ゴールデンスコアは行わない)
- (4) 試合場内の大きさは、32畳とする。
- (5) 「ユージングザヘッド(通称)及びヘッドディフェンス(通称)」については、
ダイビングと同様に取り扱うものとし「反則負け」とする。
- 12 表彰 1位から3位までを表彰する。
- なお、団体試合優勝チームは全国大会の出場権を得るものとする。
- 13 承諾書提出 保護者の参加承諾書を、申し込み書と一緒に提出すること。
- 14 その他 参加チームは選手の健康診断の受診、スポーツ安全保険に加入していること。
- 15 申込方法 別紙様式(参加申込書、参加承諾書)に記入の上、期日厳守で申し込むこと。
- 申し込み期日 令和8年2月10日(火)(郵送にて必着)
- 申込先 〒939-1104 高岡市戸出町2丁目4番27号
- 関岡 邦夫 宛 電話:0766-63-3713
- 16 抽選 競技役員が行う。